

AOI国際病院 看護補助者ラダー

ラダーレベル		I	II	III
能力全体のレベル毎の定義		看護チームの一員としての役割と責任を理解し、看護師長及び看護職の指導を受けながら、安全に業務を遂行できる。	看護チームの一員としての役割と責任を果たし、安全に業務を遂行できる。	看護補助者の中心的なメンバーとして看護チームに参画し、看護補助者の同僚や後輩に助言や支援ができる。
能力	能力の構成要素			
基本姿勢と態度	自施設及び組織の理解	①当院及び看護部の理念を理解している。 ②当院の社会的責任について理解している。		
	コンプライアンス	①公私の区別を明確にしている。 ②自らの役割と能力を照らして業務を引き受け、責任を持って取り組んでいる。 ③就業規則や施設内ルールに従って行動している。 ④施設の個人情報保護や守秘義務のルールを守っている。		
	接遇・応対	①患者・家族の立場を常に意識し、安心感を与えられるような接遇・応対を心がけている。 ②看護部の定める「身だしなみ基準」に準じた身だしなみを意識している。		
業務遂行に必要な知識・技術	実践 看護師から指示を受けた看護補助業務を遂行する力	①看護補助者の業務内容・業務範囲を説明できる。 ②当院の看護補助者の業務に関する規定等を確認している。 ③当院の看護補助者の業務に関する規定等に従い、看護師長及び看護職の指導を受けながら業務を安全に遂行している。 ④所属部署における看護補助者業務の概要と流れを理解している。 ⑤自信の責任範囲を理解し、一人で判断せず、看護職の指示を受けて業務を遂行している。 ⑥看護職からの指示受けと報告の方法を理解し、指示を受け、報告できる。 ⑦疑問点や不明点は、看護師長や指示者に確認できる。	①当院の看護補助者の業務に関する規定等に従い、安全に業務を遂行している。 ②業務の優先順位を考えて行動計画を立てている。 ③疑問点や不明点を円滑に確認して看護職から指示を受け、報告できる。	①当院の看護補助者の業務に関する規定等に従い、安全に業務を遂行し、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ②業務の優先順位を考えて、円滑に行動計画を実行している。 ③必要時、業務マニュアルや実施方法の改善について、看護チームに提案している。 ④より複雑な手順が規定されている業務についても遂行している。
	安全 業務上の危険から患者と自己を守る力	①医療事故を起こさないための注意点と対応策に関する基礎知識がある。 ②医療事故を起こさないための注意点と対応策を、看護師長及び看護職の指導を受けながら実施できる。 ③感染予防策に関する基礎的知識がある。 ④看護師長及び看護職の指導を受けながら、感染予防対策を実施している。 ⑤災害時の対応を理解している。 ⑥急変時の対応を理解している。 ⑦健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を、看護師長及び看護職の指導を受けながら実施できる。 ⑧労務環境において、自己が危険にさらされた場合に、看護管理者または看護部相談窓口を活用して相談できる。	①医療事故を起こさないための注意点と対応策を実施できる。 ②感染予防対策を実施している。 ③災害時の自らの役割を理解し、看護師長及び看護職の助言を得ながら役割を果たすことができる。 ④急変時の自らの役割を理解し、看護師長及び看護職の助言を得ながら役割を果たすことができる。 ⑤健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を実施できる。 ⑥労務環境における課題に気づき、看護管理者または看護部相談窓口を活用して相談できる。	①医療事故を起こさないための注意点と対応策を実施でき、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ②感染予防対策を実施し、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ③災害時の自らの役割を理解し、状況に応じて役割を果たすことができる。 ④急変時の自らの役割を理解し、状況に応じて役割を果たすことができる。 ⑤健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を実施でき、看護補助者の同僚や後輩にも助言することができる。 ⑥労務環境において、他者が危険にさらされた場合に気づき、看護チームで協働して解決策を実行することができる。
	チームワークとコミュニケーション 看護チームの目標達成に参画する力	①看護チームの目標を理解している。 ②看護チームにおける各職種の役割と責任を説明できる。 ③看護チームにおける情報共有の重要性を説明できる。 ④看護チームでの情報共有のため、報告・連絡・相談を適切に行うことができる。	①看護チームの目標達成に向けた、自らの役割を理解し、業務に取り組むことができる。 ②看護チームの目標達成のために自信が取り組んでいることを説明できる。 ③必要時、患者の療養環境の改善や工夫の必要性について気づき、看護師長または看護職に相談できる。 ④看護チーム内の人間関係を良好に保つよう心がけ、声をかけやすい雰囲気を作ることができる。 ⑤同僚と互いを尊重し合うコミュニケーションを取ることができる。 ⑥余力がある場合は、周囲の仕事を手伝っている。 ⑦ミーティング等の機会で、自ら進んで参加し、意見を述べることができる。	①看護チームの目標の達成と、提供するサービスの質の向上を意識して、業務に取り組むことができる。 ②看護チームの目標の達成と、提供するサービスの質の向上のために自身が取り組んでいることを説明することができる。 ③必要時、患者の療養環境の改善や工夫について、看護チームに提案することができる。 ④良好な人間関係作りに向けて、コミュニケーションの機会を自ら働きかけて作ることができる。 ⑤看護補助者の後輩のモデルとなるようなコミュニケーションを取ることができる。 ⑥看護補助者の同僚や後輩に支援的に関わることができる。 ⑦必要時、看護補助者の同僚や後輩と意見を交わし、まとめている。 ⑧看護補助者の中心的なメンバーとして、発言できる。